

# 層雲峡ビジターセンター



〔大函・11月〕

## 層雲峡にある溪谷「大函」

大函は上川町の層雲峡にある国道39号線沿いの景勝地です。川幅約10mの大函の両岸には、柱のような岩が規則正しく並ぶ柱状節理がそびえ立ち、訪れる人たちを圧巻の景色が出迎えます。春から秋にかけてはこの景色を展望台からしか眺められませんが、冬は違います。当センターの冬季の観察会では川の中を歩くことができ、なかなか近づくことができない柱状節理を間近に見ることができます。これが、冬の大函の最大の魅力です。

大函・ニセイチャロマップ方面で行う冬季の観察会では、氷瀑や霜の結晶が天井を埋める洞窟などが見られます。大自然が創り出す造形美をぜひ、ご堪能ください。



〔ニセイチャロマップ川の飛沫氷柱〕

## 飛沫氷柱

川沿いなどで水しぶきがかかるところに見られる氷の造形です。はねた水しぶきが木々や岩などに氷結していき、少しずつ成長します。氷の彫刻のような美しい形になるものも多く、まさに自然の芸術作品です。



## 大雪山国立公園と生物多様性

人の営みは多様な環境や生き物たちが深く関わり合いながら、自然の恵みに支えられて生活しており、衣類や住居、化石燃料から医薬品に至るまで、私たちは日々、様々な生き物からの恵みにより生命をつないでいます。植物が酸素を生みだし、森林が水環境のバランスを整えることで、多様な生き物を育てていることから分かるように、私たちの衣食住の根源は「生物多様性」により大きく支えられているのです。

「生物多様性」とは、「生態系の多様性」、「種の多様性」、「遺伝子の多様性」という3つのレベルの多様性を総称して呼び、生きものたちの豊かな個性とつながりのことを指します。地球上の生きものは様々な環境に適応し、進化しながら3,000万種ともいわれる多様な生きものが生まれました。これらの生命はひとつひとつに個性があり、私たちを含めた生き物同士は直接的、間接的に支えあって生きていることから、そこに暮らす生き物や自然環境をこれからも継続的に維持していくためには、「生物多様性」を深く理解することが必要とされます。(片山)



森



川



高山



湿原



オオバナノエンレイソウ



ヒグマ



クロテン



エンライチョウ



オオイチモンジ



マルハナバチ



エンサガエル



オオワシ

### 生物多様性の3つのレベル

「生態系の多様性」 森林、里山、河川、湿原、干潟など様々な自然環境があります。

「種の多様性」 細菌から植物、昆虫、鳥、哺乳類まで多様な生きものがあります。

「遺伝子の多様性」 同じ種でも遺伝子には違いがあり、色や形、模様など地域ごとに多様な個性がみられます。

## 冬季観察会のお知らせ

〔内容〕 スノーシューハイキング

〔場所〕 大函・ニセイチャロマップ

〔日時〕 2023年1月21日～2月19日までの土・日 開催  
(午前・午後各一回実施)

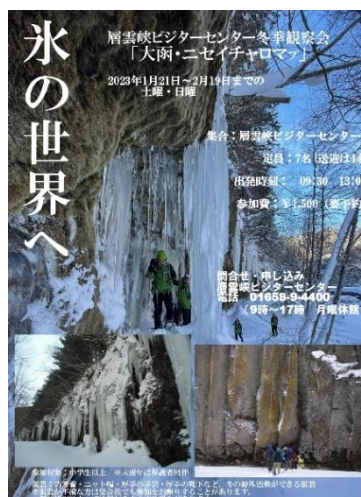
〔参加費〕 1500円

〔参加対象〕 中学生以上

(未成年は保護者同伴)

※事前申し込みが必要です。

※詳細については当センターまでお問い合わせください。



## 開館時間変更のお知らせ

〔開館時間〕 9:00～17:00

〔休館日〕 毎週月曜日

※11月～5月まで上記の時間です。

※年末年始休業 12/31～1/5

## 層雲峡ビジターセンター

電話 01658-9-4400

ウェブサイト <http://sounkyovc.net>

〒078-1701 北海道上川郡上川町字層雲峡